



報道関係各位
プレスリリース

2014/9/25
コンデナスト・ジャパン

『GQ JAPAN』2014年11月号(9月24日発売)

『GQ JAPAN』2014年11月号 表紙の男:カニエ・ウェスト 反逆児の言い分

Global な視点で物事を捉え、Independent な男の24時間365日の情報源『GQ JAPAN』(コンデナスト・ジャパン発行)最新号(9月24日(水)発売)では、数々の爆弾発言と奇行で知られる問題児ラッパー、カニエ・ウェストを表紙とCOVER STORYで特集。その暴言暴挙ゆえにメディアから叩かれてきたカニエが、愛妻キム・カーダシアンとの結婚を境に、心機一転、心を入れ替えたという。US版『GQ』にだけ語った、新生カニエの“言い分”を一挙公開。

「俺は鮫でも怪物でもない、ただのハリセンボンだ」。総資産1.1億ドル(!)を掴み、結婚披露宴に1,800万ドルを費やした希代のNo.1ラッパー。しかし、「人気ナンバー1の座は、すでにドレイクのものさ」と謙虚に語り始め、世間が彼を鮫か怪物扱いしている見方に対しては、「俺はハリセンボン」と、人を傷つけるのではなく人々を守りたい、と、結婚式直後の興奮さめやらぬ様子……。この時代の寵児は今後、どこに向かっていくのだろうか? いまいちばん重要視しているのは良き父、良き夫、そして礼儀正しい人間として生きることだと語る彼の結婚レポートとキム・カーダシアンから学んだ最強のコミュニケーターの熱弁がここにある。



GQ JAPAN 2014年11月号
Photo: Patric Demarchelier
©2014 Condé Nast Japan. All rights reserved.

その他、「パートナーとうまくやる、いくつかの方法」では、内田恭子のギリギリ露出! アナウンサーとしてはもちろん、執筆や芝居など多岐にわたる分野で活躍している彼女。そんな充実した日々の背景には、パートナーとの幸福な関係がある。そのHOW TOを語ってくれた。「外見で人を好きになる時期は、もう、卒業していました」ですって!

デジタルリンク先

- ◇GQ JAPAN サイト <http://gqjapan.jp>
- ◇Twitter @GQJAPAN <http://twitter.com/GQJAPAN>
- ◇Facebook <http://www.facebook.com/GQJAPAN>
- ◇iPad アプリ FULL SPEC 版 <http://gqjapan.jp/ipad/>

『GQ Weekly』スタート記念。30日フリートライアル実施中!

最新号からセレクトした記事のインタラクティブ版を毎週配信する『GQ Weekly』をiPad限定でリリース中です。

いま年間購読をお申込みいただくと、11月号フル版と『GQ Weekly』が30日間無料でお楽しみいただけるキャンペーンも実施中です。

【GQ JAPAN】

1957年に米国で創刊し、現在20カ国で発行する、クオリティ・ライフスタイル誌『GQ』の日本版。知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のための月刊誌として、2003年に創刊。時代に影響を与えた各界の男性たちを毎年年末に表彰する「GQ Men of the Year」も好評。

編集長:鈴木 正文(すずき まさふみ) / 発売:毎月24日 / 定価:600円(税込) / 発行:コンデナスト・ジャパン

インターネットへの掲載の場合、次のURLを掲載の上、リンクしてください。

<http://gqjapan.jp/latest/>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先 GQ JAPAN マーケティング部 尾崎・平大路 TEL: 03-5485-9101